



テーマ

10年後も住みたいまちにするために、私たちができること

東京武蔵野ロータリークラブ

災害に強い街へと今よりもよりよくなる現代。それらはいつどこに起こるか分からない。

また、近年進んでいるオゾン層の破壊により気温が上昇し、北極の氷が溶けたり、集中豪雨となるなど世界的に様々な異常気象が起きてきている。これらは私たちの日本でも夏の高温多湿や記録的大雨、強すぎる紫外線の影響を大きく受けて、過ごしにくい状況だ。

私は日常に通り来るこのような災害に強い街に住みたいと思う。そのため私たちが一人一人は次のことを実践できると考える。

まず一つ目は、街に緑を増やすことだ。家の庭に木や花を植え育てたり、道路に街路樹を植える。学校や会社、公共施設の敷地にもまだ緑を増やす余地はあると思う。

二つ目は、ゴミの量を減らすことだ。ゴミは燃やすと二酸化炭素が出る。その二酸化炭

- 作文の題名・学校名・学年・名前（ふりがな）を書いてください。
- 小学生は、原稿用紙2枚以内以内、中学生は、原稿用紙4枚以内。

応募について詳しくはサイトでご確認ください。 m-rotary.org



- 1 貧困をなくそう
- 2 気候変動に具体的な対策を
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を實現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさも守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう



テーマ

10年後も住みたいまちにするために、私たちができること

素によつてオゾン層が破壊されている。個人として、マイバッグや水筒を持ち歩き、プラスティック製の製品（レジ袋・ペットボトル・ストローなど）はできる限り消費しないようにする。他にもすぐに使わなくなつてしまつた物ではなく、長く使える物を買うこともゴミの量を減らすことにつながる。例えばファストファッションが流行しているが、消費者と企業が服の使い捨てを考へ直す時期にきているのではないだろうか。服だけに限らず安易になりサイクルに頼らず、物を大切にす文化もゴミを減らすことにつながると思う。リサイクルもまた、そのためのエネルギーを必要とし、環境に負担をかけるからだ。

毎日の暮らしの中で皆が常に意識し、行動すれば、小さな取り組みも大きな力となる。私たち子どもから大人まで皆が力を合わせ、今よりも悪くしない努力、そして今よりもより良くする事ができれば、住み良い町になつていくのではないだろうか。

東京武蔵野ロータリークラブ

● 作文の題名・学校名・学年・名前（ふりがな）を書いてください。
● 小学生は、原稿用紙2枚以内以内、中学生は、原稿用紙4枚以内。

応募について詳しくはサイトで確認ください。
m-rotary.org



- SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
- 1 貧困をなくそう
 - 2 飢餓をゼロに
 - 3 すべての人に健康と福祉を
 - 4 質の高い教育をみんなに
 - 5 ジェンダー平等を実現しよう
 - 6 安全な水とトイレを世界中に
 - 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 - 8 働きがいも経済成長も
 - 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
 - 10 人や国の不平等をなくそう
 - 11 住み続けられるまちづくりを
 - 12 つくる責任つかう責任
 - 13 気候変動に具体的な対策を
 - 14 海の豊かさを守ろう
 - 15 陸の豊かさも守ろう
 - 16 平和と公正をすべての人に
 - 17 パートナリシップで目標を達成しよう